

(3) 武庫川女子大学

①事業概要

食体験や農業体験をもとに、小学校で実践する「日本型食生活を学ぶ食育プログラム集」を作成する活動を通して、「日本型食生活」への理解を深め、小学校教師としての実践的な指導力を身に付ける。

②学生の属性

学部・学年	人数
教育学科 3年生 藤本ゼミ	12名
教育学科 4年生 藤本ゼミ	12名
教育学科 3年生 座学での学びの学生	231名

合計：255名

③スケジュール

実施日 (人数)	タイトル	属性	詳細
5月19日 (火)～21日 (木) (231人)	日本型食生活について の講義	教育学科 3年生	日本型食生活のよさ（ごはんを主食としたバランスのとれた食事）、日本型食生活を実践していくことの価値（食料自給率の向上や各地で古くから育まれてきた貴重な食文化の継承にもつながること）について講義を受ける。
5月25日 (月) (6人)	農業体験	教育学科 3年生	 大阪府松原市の農場で枝豆の種蒔きを実施。サツマイモの苗の植え付けを行う。 「大阪府松原市エコ農産物ブランド まったら愛っ娘～松原育ち～」農家の出口正広・とし江さんの指導を受けた。農業体験を通して、天候や作物の生長に合わせて作業を行う農家の知恵を学ぶことができた。
6月10日 (水) (24人)	農業体験	教育学科 3, 4年生	 武庫川女子大学学校教育館 6Fテラスにて、袋作りで一人一野菜栽培を行う。ミ

			ニトマト、スイカ、ナス、トウモロコシ、ピーマン等の栽培方法と教材化のポイントについて学ぶことができた。教育学科の学生約 1000 名が目にする場所であり、教育学科の学生への広報活動ともなった。
6 月 18 日 (木) (24 人)	食体験	教育学科 3, 4 年 生	「京料理たか木」シェフ高木一雄と栄養教諭奥瑞恵先生による「だしの授業」を体験した。魚のさばき方やだしのとり方などを学ぶとともに、だしの教材性に触れることができた。「日本型食生活」に対する理解を深める大きな契機となった。 
6 月 20 日 (土) (12 人)	加工体験	教育学科 3, 4 年 生	梅ジュースづくりを通じて、農産物の加工技術の教材化へのヒントを得ることができた。 
8 月 7 日 (金) (12 人)	農業体験	教育学科 3, 4 年 生	「NPO法人ノート理事長」の杉本真一さんの指導を受け、バケツ稲作りに取り組んだ。小学校において米作りの行う際のノウハウを学ぶとともに、米を教材として授業プランのアイディアを学んだ。 
8 月 9 日 (日) (11 人)	農業体験	教育学科 3, 4 年 生	松原市の農場で枝豆の収穫を行った。農家の出口正広・とし江さんの指導を受け、作物を収穫することの喜びや生活科等での題材栽培の知識を得ることができた。

				
10月15日 (木) (7人)	授業参観 寝屋川市木屋小学校	教育学科 4年生	学生が教材開発し、作成した授業プラン「5年生家庭科お米と大豆は名コンビ」をもとに実施した食育授業を参観。 	
11月2日 (月) (10人)	授業参観 枚方市殿山第一小学校	教育学科 3, 4年生	学生が教材開発し、作成した授業プラン「4年生学活上手にいただきます」をもとに実施した食育授業を参観。 	
11月7日 (土) (5人)	授業参観 加古川市東神吉小学校	教育学科 4年生	学生が教材開発し、作成した授業プラン「5年生家庭科 お米のことばのひみつを考えよう」をもとに実施した食育授業を参観。	
11月16日 (24人)	農業体験	教育学科 3, 4年生	袋作りによるイチゴ栽培に取り組む。圃場や学校農園に恵まれない小学校の環境でも農業体験を取り入れる手立てを得ることができた。	
12月12日 (土)～13日 (日) (10人)	食育プログラム講座	教育学科 4年生	静岡大学農学部 稲垣栄洋先生による食育プログラム開発の指導と日本型食生活	